



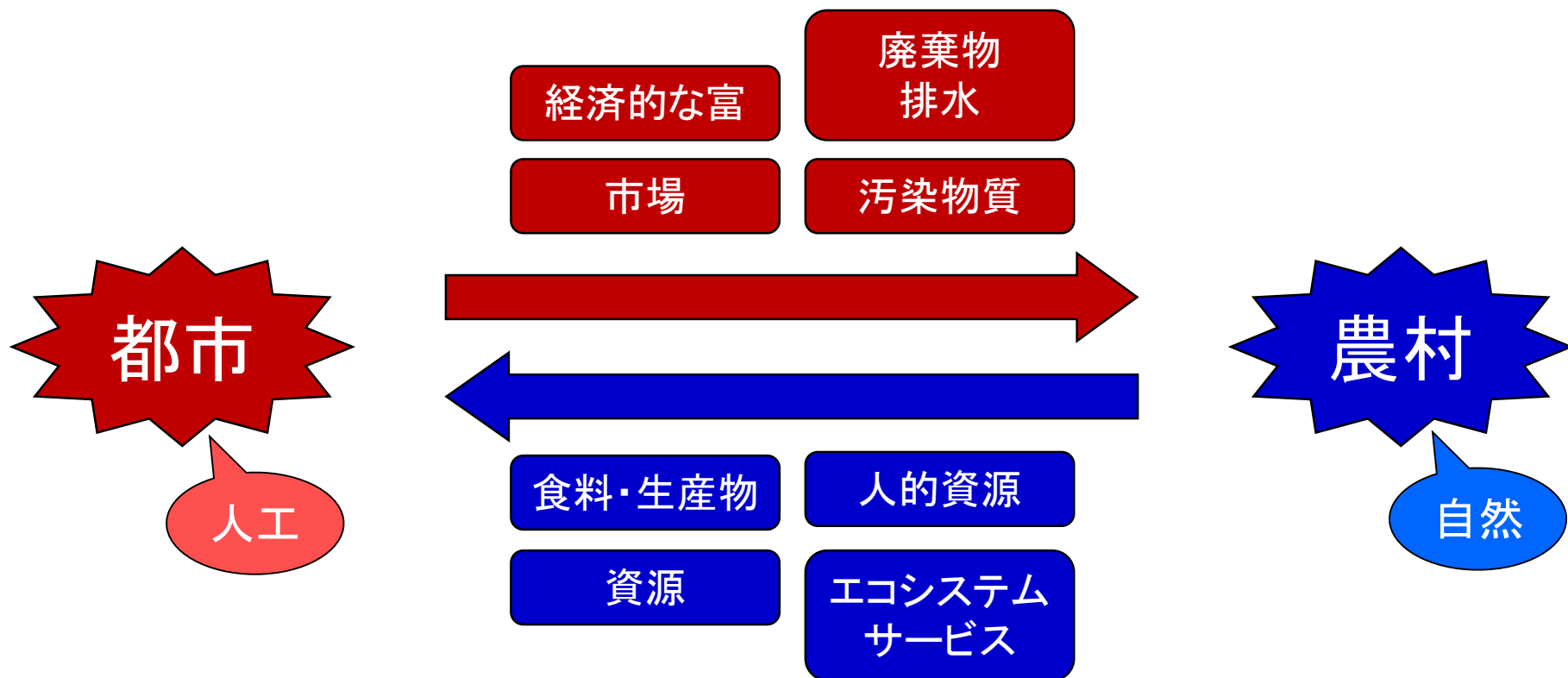
# 都市と農村の 相互依存

滋賀大学国際センター 教授  
森 宏一郎



## 現状、背景、重要性

2050年には、世界人口93億人のうち63億人が都市に住む。都市が巨大な経済的富を生み出す一方、農地の拡大や資源の利用が過大になり、農村の疲弊とともに自然環境の荒廃が進むと考えられる





## 特徴的な課題

都市

農村

67. 都市により周辺地域に生じる環境問題(農村生態系、気象、災害、発電、ごみに伴う問題)をどう解決するか？

68. 都市への人口集中に伴うヒートアイランドや都市型水害などの環境・社会・経済の問題をどのように解決するか？

69. 都市問題の解決のために、都市・農村全体を考えた都市デザインはどのようなものか？

70. 若者の移住促進などを通じて地方を活性化するにはどうすればよいか？

72. 低炭素社会の実現のために、どのように農村で自立してエネルギーを需給できるか？

74. 特産物や観光名所等の地域資源について、都市とその周辺地域をどう連携させるか？

75. 森や生物など、自然環境の中にある資源を持続可能な方法で利用し、再生するための、分散・分権型の地域社会とはどのようなものか？